

平成 30 年 6 月 7 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2013～2017

課題番号：25243004

研究課題名(和文) グローバル化時代に対応する21世紀型イスラーム学の構築

研究課題名(英文) Constructing the Study of Islam Appropriate for the Global Era of the 21st Century

研究代表者

小杉 泰 (Kosugi, Yasushi)

京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

研究者番号：50170254

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 27,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、これまで前近代と現代とが分離していたイスラーム学を歴史と現代を架橋するように再編し、20世紀後半以降のイスラーム復興とグローバル化に対応する「21世紀型イスラーム学」の構築を推進した。これをさらに発展させるための「戦略的提言」を公表した。また、この新しいイスラーム学を活用して、イスラーム世界の諸地域を対象とする「イスラーム地域研究」を発展させ、宗教思想・政治・経済などの現代的問題群に対する知見の拡充をおこなった。また、「知のインフラ」整備によって、種々の専門用語集・主題年表(トリリンガル方式)などを制作し、将来的な「ナレッジベース(専門知識データベース)」の基礎を作った。

研究成果の概要(英文)：The aim of this project has been to integrate “Islamic Studies” on historical eras and the “Study of the Contemporary Islamic World” so that the gap between the two would be bridged. The formulation, “21st Century Islamic Studies”, is better able to respond to issues which have manifested since the Islamic revival alongside globalization in the last five decades or so. We have published a “strategic proposal” to strengthen the new studies further. Utilizing these new Islamic Studies perspectives, we have promoted “Islamic Area Studies,” expanding our knowledge and interpretation of religious, political and economic issues in contemporary contexts from a deeper historical perspective. We have laid the foundations for a “knowledge-base” on the Islamic world, making hyper-text timelines and glossaries of specialized terminologies.

研究分野：総合人文社会

キーワード：イスラーム学 イスラーム地域研究 西アジア・中央アジア 現代イスラーム アラビア語原典研究

1. 研究開始当初の背景

イスラーム世界の諸地域をめぐる実証的な研究は近年、イスラーム地域研究をめぐる次の3つのプロジェクトなどによって、大きな進展が見られた。その一方で、イスラームの理念体系や思想を明らかにするイスラーム学の研究は、特に現代に関して不十分であった。

学際的な地域研究においては、多様なディシプリンを活用する必要がある。イスラーム世界では理念の影響力が非常に強く、理念と現実の相互作用によって生じている地域の実態を理解するためには、ディシプリンの一つとしてイスラーム学の活用が不可欠である。

そこで、前近代から現代までを架橋する通時的でグローバルなイスラーム学を構築することをめざす必要性が強く感じられた。

2. 研究の目的

本研究は、20世紀後半以降のイスラーム復興とグローバル化をふまえて、21世紀型のイスラーム学を構築し、イスラーム世界の諸地域を対象とする地域研究を推進するものである。イスラーム学は、イスラームの理念体系と思想を原典資料の解析と思想史の方法によって明らかにするもので、現実社会の理解にも欠かせない。現代イスラームはグローバル化の影響下で、イスラーム復興の進展、宗派対立の発生、近代思想や科学への対応、経済分野のイスラーム化等の今日的課題群が生じて、神学・哲学・法学などが大きく変容しており、その解明が急がれる。本研究はその不足を埋めるべく、現代イスラーム思想の原典研究の拡充、今日的課題群の解明、

研究の基盤となる「知のインフラ」整備、国際的な発信と交流、長期的な研究戦略の立案を行う。

3. 研究の方法

研究方法として、次の5つを用いた。

原典資料を収集し、活用する。研究代表者の所属する研究科に所蔵する日本最大数のアラビア語コレクションに、世界第2位のウルドゥー語コレクションを加え、21世紀のイスラーム思想について集中的な原典の補強を行い、それらを活用して新しいイスラーム学の構築を行う。

世界的なイスラーム学の最先端を俯瞰し、吸収するとともに、新しい課題を設定する。

イスラーム復興とグローバル化の進展によってもたらされた今日的課題群の研究をおこなう。中でも、1)宗派の対立と融和、2)18世紀~21世紀に勃興したサラフィー主義の思想と現状、3)現代西洋思想との対応と相克、4)科学とテクノロジーをめぐる宗教思想、5)イスラーム経済論、に注力する。

「知のインフラ整備」による知見の拡充。国際的な研究交流をおこない、研究成果を国際発信し、フィードバックを得る。

4. 研究成果

5年間にわたる研究プロジェクト推進の結果として、主に次のような成果が得られた。

アラビア語文献を中心に原典資料の収集をおこない、本プロジェクトの対象領域について貴重な文献を得ることができた。また、原典を用いた分析と研究により、新たな知見を得た。その一部は、下記の に活用されたほか、 で基本データとして用いられた。

「イスラーム学の最先端」の探究を通じて、国際的な研究動向を精確に把握し、日本における研究の課題を明らかにすることができた。それによる知見の一部は、下記の の戦略的提言に盛り込まれたほか、研究代表者・分担者が発表した論文等で公表された。

「今日的問題群」の研究において、特に次の5つの課題群を探究した：(1)宗派の対立と融和(スンナ派・シーア派・その他の諸分派)、(2)18世紀~21世紀に勃興したサラフィー主義(初期イスラームへの回帰)の思想と現状、(3)現代西洋思想との対応と相克、(4)科学とテクノロジーをめぐる宗教思想、(5)イスラーム経済論。

研究の基盤となる「知のインフラ」整備において、グローバル化時代に適切な「トリリンガル方式」(アラビア語・日本語・英語を用いた記述)を開発し、主題年表や専門用語集を制作した。それによって今後の「ナレッジベース(専門知識データベース)」の基礎を作った。

長期的な研究戦略を立案し、「21世紀型イスラーム学の拡充と活用へ向けて：5項目の戦略的提言」を公表した。

国際的な活動として、5年間の間に12回の国際研究集会を開催し、多くの研究報告をおこなったほか、招待講演や英語論文を通じて、国際的な研究成果の発信をおこなった。

若手研究者の育成においては、多くの院生協力者に対して研究指導をおこない、彼ら自身の研究発表を支援した。本プロジェクトに参加した院生は5年間で4人が博士号を取得した。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計35件)

小杉 泰、内戦とテロの拡散にゆれる中東諸国、世界史のしおり、72巻、2017、pp.0-2
TONAGA Yasushi、'Ambiguity in Context' according to Islamic Thought: Bridging Theory and Actuality in Relating to Saints in Islam, Edited by Angela Hobart and Thierry Zarcone Pilgrimage and Ambiguity Sharing the Sacred, 2017, pp.69-84, 国際共著

長岡慎介、現代イスラーム経済の挑戦 ポスト資本主義時代の新たなパラダイムのために、村上勇介・帯谷知可編『秩序の砂塵化

を越えて 環太平洋パラダイムの可能性』京都大学学術出版会、2017、pp.221-248

長岡慎介、岐路に立つイスラーム金融 異端派が切り開く新たな将来ビジョンとポスト資本主義時代におけるその可能性、宗教研究、91(2)巻、2017、pp.177-200

森 伸生、変化するサウジアラビア：サルマーン国王の覚悟、海外事情 2017、査読有、2017、pp.18-33

森 伸生、クルアーンの啓示における7ハルフと7クルアーン読誦法に関する考察、シャリーア研究 14号、2017、pp.27-47

KOSUGI Yasushi (編)、Special Feature on "Toward New Studies on Islamic Moderate Trends"、イスラーム世界研究 10巻、査読有、2017、pp.1-53

KOSUGI Yasushi、Islamic Revival and the Majority Trend of Moderation: Personal Reflections on a Half-Century of Japanese Studies、イスラーム世界研究 10巻、査読有、2017、pp.1-18

小杉 泰、21世紀型イスラーム学の拡充と活用へ向けて：5項目の戦略的提言、イスラーム世界研究 10巻、査読有、2017、pp.124-130

TONAGA Yasushi、Fact or Fiction? : The Images of the Sufi Authors in 10th-12th Century、History, Literature and Scholarly Perspectives South as West Asian Context: Festschrift Presented in Honor of Moinuddin Aqeel, Karachi: The Islamic Research Academy, 2016、pp. 77-80

小杉 泰、イスラーム経済とハラール人生哲学、青淵 28巻、2015、pp.16-18

小杉 泰、現代イスラームにおける国家と宗教：変容する国家像と越境するウンマ、宗教研究 89巻、2015、pp.53-78

TONAGA Yasushi、Mysticism along the Mediterranean Sea: Ethics and Mysticism according to Ibn 'Arabī, "Proceedings of the International Conference "Expanding the Frontiers of the Mediterranean," Busan: Busan University for Foreign Studies, 2016、pp. 65-70

長岡慎介、現代中東アラブ世界の「読み」「書く」伝統とその革新 研究者が見た出版メディアのいま、情報の科学と技術 66(1)巻、査読有、2016、pp.26-31

NAGAOKA Shinsuke、Revitalization of Waqf in Singapore: Regional Path Dependency of the New Horizons in Islamic Economics, Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies No.9、査読有、2016、pp.4-18

NAGAOKA Shinsuke、Islamic Finance and Revitalization of the Traditional Islamic Economic Institutions, MEI Insight, 2015、pp.8-13

森 伸生、タクフィール(不信仰者宣告)の論理、シャリーア研究第 12号、2015、pp.21-44

山根 聡、対テロ戦争期パキスタンの政

治・社会における内的変化、アジア研究 61-3、査読有、2015、pp.1-17

小杉 泰、イスラームの誕生と聖典クルアーン、『イスラーム 書物の歴史』、2014、pp.10-30

小杉 泰、デジタル時代の古典復興--アラビア語メディアを中心に、『イスラーム 書物の歴史』、2014、pp.396-421

②小杉 泰、勃興する「イスラーム国」と国際社会の選択：「怪物」を生み出した欧米の「力の倫理」、外交 28巻、2014、pp.46-51

②東長 靖、共生の思想としてのスーフイズム 聖者信仰と諸宗教の一致、知のユーラシア 2 知の継承と展開 イスラームの東と西 2巻、2014、pp.131-154

③森 伸生、イスラームの食規定に関する学派間の相違、シャリーア研究 11号、2014、pp.29-49

④森 伸生、イスラームから見た『イスラーム国』、年間海外事情、2015、pp.99-100

⑤山根 聡、パキスタンの民主政権を支えるのは軍か、イスラームか、メディアか?、現代インド研究 5巻、査読有、2015、pp.53-68

⑥山根 聡、19世紀北インドにおけるウルドゥー語とイスラームの親和性、英領インドにおける諸宗教運動の再編--コロナリズムと近代化の諸相7巻、2015、pp.53-75

⑦菊地達也、極端派(グラート)の伝統とアラウィー派、中東の思想と社会を読み解く、2014、pp.109-130

⑧小杉 泰、イスラームはどう世界につたえられたか、広がり続けるイスラームの秘密、2014、pp.9-81

⑨小杉 泰、イスラーム的身体観と生命倫理の再構築：グローバル化時代におけるその意義、『環インド洋地域における宗教復興・テクノロジー・生命倫理』2013、pp.241-250

⑩長岡慎介、「ムダーラバ・コンセンサス」のマレーシア的転回--イスラーム資本市場が切り開く新たな地平、イスラーム世界研究 7巻、査読有、2014、pp.243-275

⑪森 伸生、イスラーム法規定における容易化の可能性：巡礼の諸規定を例にして、シャリーア研究第10号、2013、pp.35-70

⑫YAMANE So、The Horizons of Islam in South Asia: Iqbal and Maudud, Armaghan-e Rafi ud-Din Hashimi, 2013、pp.63-105

⑬YAMANE So、Goya, Faqir Muhammad Khan, The Encyclopedia of Islam Vol 1, 2013、pp.139-140

⑭菊地達也、イスラーム教シーア派におけるメシア主義とその神話化、文化交流研究27巻 2014、pp.37-47

⑮KIKUCHI Tatsuya、The Resurrection of Isma'ili Myth in Twelfth-Century Yemen, Ishraq Vol.4, 2013、pp.345-359

[学会発表](計34件)

KOSUGI Yasushi、Islamic Civilization and

the Future of Global Society, Forum and Discussion II: Islam in Modern Society (FICAS 2017) 2017

KOSUGI Yasushi, Islamic Civilizational Studies, Islam Hadhari Studies, and the Tasks of Global Hadhari Network, International Symposium on Islam, Civilization and Science (ISICAS 2017) 2017

KOSUGI Yasushi, Towards a Peaceful Coexistence of Civilizations, WIEF (世界イスラーム経済フォーラム) (招待講演) 2017

TONAGA Yasushi, Three-Axis Framework of Sufism: Toward the Interdisciplinary Approach, The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies" 2017

TONAGA Yasushi, General Trend of Islamic and Sufi Studies in Japan, The First International Symposium of Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University: "Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies" 2017

NAGAOKA Shinsuke, The Future of the Islamic Economy: Alternative System or New Economic Paradigm?, International Conference on Islamic Awakening (ICIA 2017): Towards Sustainable and Resilient Growth of Islamic Finance Industry through Innovation, Leadership and Management (招待講演) 2017

NAGAOKA Shinsuke, Reconsidering the Practice of Islamic Finance in Southeast Asia: Bridging the Dichotomy between the Idea and the Reality, Southeast Asian Seminar at Seoul National University (招待講演) 2017

YAMANE So, Dual Trends of Sufi Poetry Qawwali in South Asia, Islamic Studies and the Study of Sufism in Academia: Rethinking Methodologies, 2017

YAMANE So, Names of Restaurants as Religious Symbols, 'Contours of Culinary Transformations in South Asia' ICSSR, 2017

TONAGA Yasushi, Towards the Asian Network of Sufi Studies: From the Japanese Experience, AFMA (Asian Federation of Middle East Studies Associations) Conference, 2016

NAGAOKA Shinsuke, Universalizing Islamic Economic Knowledge for the Next-generation Global Economic System, Durham-Kyoto International Workshop in Islamic Economics and Finance, 2016

NAGAOKA Shinsuke, How can Islamic Economic Knowledge Contribute to the Next-generation Global Economic System?,

International Joint Conference on Islamic Economics and Finance in Istanbul (招待講演) 2016

YAMANE So, Jadīd Urdū Adab ke Farogh men Ahmad Nadīm Qāsmī kī Khidmat (in Urdu) 現代ウルドゥー文学におけるアフマド・ナディーム・カースミーの貢献(ウルドゥー語), International Urdu Literature Conference, "Memory of the 100th Birth Year of Ahmed Nadeem Qasmi" (招待講演) 2016

YAMANE So, Social and Political Modification in Pakistan in the War on Terror, International Conference "Reconstructing State Security and National Integration in the Middle East" (招待講演) 2016

今松 泰, 聖者を記述する--オスマン朝の場合、シンポジウム「イスラーム世界を生きた聖者たち」, 2017

KOSUGI Yasushi, Islamic Economics and Philosophy of Halal Life, KU-KAU Joint International Symposium on Islamic Economics and Social Development, 2015

東長 靖, アッラーは世界の貌(かお)で現れる - スーフィズムの共生思想、日本中東学会 21 回公開講演会「イスラームの多様な貌 - 共生のための理解をめざして」2015

TONAGA Yasushi, Current Situation of Middle East Studies in Japan, 25th KAMES International Conference (招待講演) 2015

TONAGA Yasushi, Mysticism along the Mediterranean Sea: Ethics and Mysticism according to Ibn 'Arabī, International Conference 20th Anniversary of the Foundation of Institute for Mediterranean Studies (ICIMS) (招待講演) 2016

NAGAOKA Shinsuke, Reconsidering the Role of Traditional Islamic Economic Institutions for Community Welfare: New Paradigm or Mimic Capitalist Model?, Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance New Horizons in Islamic Economics, 2015

② NAGAOKA Shinsuke, Is 'Interest-riba Consensus' a Robust Platform for Islamic Economics? New Intellectual Discourse after the Sharia-Compliant Criticism, International Symposium on Islam, Civilization & Science, 2015

② IMAMATSU Yasushi, Ertuğrul Fırkatayni Faciası ve Kobe (トルコ語) Uluslararası Ertuğrul'un İzinde Deniz Kuvvetleri ve Diploması Sempozyumu, 2015

③ 山根 聡, 南アジア・イスラーム論 政治・社会運動の宗教的正当性をめぐって、NIHU プログラム「来たるべき現代インド 南アジア地域研究」, 2015

④ 菊地達也, 「媒介者」としてのシーア派イマーム、宗教史研究会、2015

⑤ KOSUGI Yasushi, Islamic Economics and

Halal Philosophy of Life, Durham-Kyoto International Workshop in Islamic Economics and Finance, 2014

②⑥ 小杉 泰、イスラーム政治の現在：現代思想のグローバルな眺望の中で、早稲田大学拠点：文部科学省共同利用・共同研究「中東政治・経済の構造変動とイスラーム・アラブの役割」、2014

②⑦ TONAGA Yasushi、Rethinking Sufism through the Comparison between Sufism and Pure Land Buddhism, Joint Seminar of IMS-KIAS/ASAFAS Traditional/Interculture and Digital Humanity in the Mediterranean Area、2015

②⑧ 長岡慎介、マレーシア・イスラーム資本市場の発展とその意義 『東南アジア・イスラーム金融論』再考のために、第30回日本中東学会年次大会、2014

②⑨ NAGAOKA Shinsuke、Beyond the Financialization of Islamic Economics: A New Attempt of Islamic Banks to Collaborate with Traditional Economic Institutions (Zakat and Waqf), World Congress of Middle Eastern Studies (WOCMES), 2014

③⑩ YAMANE So、More Sophisticated, More Nostalgic and More Romantic: A Study of the Urdu Writings on Cuisine Culture under the British Raj, What Do We Eat?: Food and Identity in India, 2014

③⑪ KOSUGI Yasushi、Principal and Strategic Tasks of Islamic Economics in the Current and Coming Decades, Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance, 2013

③⑫ KOSUGI Yasushi、Forming a New Stage of Islamic Studies in the Global Age: Asian Initiatives, UBD-KU Joint International Seminar: New Horizons in Islamic Studies, 2013

③⑬ NAGAOKA Shinsuke、Revivals of the Traditional Islamic Economic Institutions with Novel Devices in the Second Decade of the 21st Century, Kyoto-Durham International Workshop in Islamic Economics and Finance, 2013

③⑭ 長岡慎介、イスラーム金融の新展開 そのビジョンとグローバル経済へのインパクト、アジア法学会秋季研究大会創立10周年特別企画「シャリーアとイスラーム金融」、2013

〔図書〕(計22件)

小杉 泰、小杉麻李亜、NHK出版、イスラームという生き方(上)、2017、157頁

小杉 泰、小杉麻李亜、NHK出版、イスラームという生き方(下)、2017、159頁

TONAGA Yasushi(編著)、Kenan Rifai Center for Sufi Studies, Kyoto University, The Bridge of Cultures: Potentiality of Sufism、

2017、112頁

菊地達也、河出書房新社、図説イスラーム教の歴史、2017、136頁

小杉 泰、大修館書店、イスラームを読む クルアーンと生きるムスリムたち、2017、242+xiv頁

山根 聡、NHK出版、パキスタン『NHKデータブック世界の放送2017』、2017、333頁

山根 聡、岩波書店、「変わる名前、変える名前--パキスタン」岩波書店辞典編集部編『世界の名前』(岩波新書)、2017、243頁

菊地達也、河出書房新社、「第四章 イスラーム教における死生観と死後の世界」大城道則(編著)『死者はどこへいくのか：死をめぐる人類五〇〇〇年の歴史』2017、104-131頁

長岡慎介、明石書店、「イスラーム経済論」私市正年・浜中新吾・横田貴之編『中東・イスラーム研究概説 政治学・経済学・社会学・地域研究のテーマと理論』2017、86-95頁

長岡慎介、成文堂、「何が/誰がイスラーム金融を作るのか 理念と現実をめぐるダイナミズムと多様性」アジア法学会編『現代のイスラーム法』2016、198-220頁

山根 聡、現代ウルドゥー詩におけるパレスチナ問題 南アジアのムスリムにみられる「向心性」について、小林寧子編『アジアのムスリムと近代(3) 植民地末期の出版物から見た思想状況』、2016、29-50頁

東長 靖・今松 泰、山川出版社、イスラーム神秘思想の輝き--愛と知の探求、2016、112頁

長岡慎介、青弓社、「資本主義の未来 イスラーム金融からの問いかけ」村上勇介・帯谷知可編『相関地域研究2 融解と再創造の世界秩序』、2016、212頁

今松 泰(共著)、北海道大学出版会、守川知子編『移動と交流の近世アジア史』、2016、xiii+284頁

山根 聡、東京大学出版会、「愛国と愛教のはざままで」三尾稔ほか編『現代インド6 還流する文化と宗教』、2015、348頁

山根 聡・長縄宣博編著、ミネルヴァ書房、越境者たちのユーラシア、2015、233頁

菊地達也、明石書店、「現代ドゥルーズ派の自己表象」塩尻和子(編著)『変革期イスラーム社会の宗教と紛争』、2016、132-157頁

山根 聡、東京大学出版会、深化するデモクラシー 現代インド3、2015、356頁

小杉 泰、岩波現代全書、9・11以後のイスラーム政治、2014、Xiii+271頁

小杉 泰・林佳世子(編)、名古屋大学出版会、イスラーム 書物の歴史、2014、vii+453頁

②⑰ 森 伸生、山川出版、イスラームを知る19 サウディアラビア 二聖都の守護者、2014、122頁

②⑱ YAMANE So(Supervised)、Center for Islamic Area Studies at Kyoto University, Urdu Works of Abū al-A'la Maudūdī: An Annotated Bibliography, 2013、114頁

〔産業財産権〕

出願状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 0 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

小杉 泰 (KOSUGI, Yasushi)
京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究
科・教授
研究者番号：50170254

(2) 研究分担者

東長 靖 (TONAGA, Yasushi)
京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究
科・教授
研究者番号：70217462
長岡 慎介 (NAGAOKA, Shinsuke)
京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究
科・准教授
研究者番号：20611198
森 伸生 (MORI, Nobuo)
拓殖大学・イスラーム研究所・教授
研究者番号：20349202
山根 聡 (YAMANE, So)
大阪大学・言語文化研究科・教授
研究者番号：80283836
菊地 達也 (KIKUCHI, Tatsuya)
東京大学・大学院人文社会系研究科・准教
授
研究者番号：40383385
今松 泰 (IMAMATSU, Yasushi)
京都大学・アジア・アフリカ地域研究研究
科・特任准教授
研究者番号：80598938

(3) 連携研究者

()

研究者番号：

(4) 研究協力者

()